

みんなで育てよう!

O(思いやる) T(高め合う) A(明るく元気)の子

越前町立織田小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	11回 (のべ) 11日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	20人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	約400人
登下校支援ボランティア	約30人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「 ふるさと教育 」

具体的活動内容

「地域の人材・施設の活用」「家庭・地域との連携」「異校種間の連携 (保小中)」の3点を今年度の福井型コミュニティ・スクール推進事業取組重点事項として掲げ、様々な実践に取り組んできた。その中で、各学年がふるさとに関わる学習を各教科・領域で行い、ふるさとへの愛着心を育んできた。以下は、各学年の実践の一部である。

1年 サツマイモ栽培と焼き芋大会 (生活科)

ボランティア先生の協力を得ながら、サツマイモの苗植えや世話をし、秋に芋掘りをして焼き芋大会を行った。大きな芋をたくさん収穫し、ボランティア先生に感謝しながら2年生と一緒においしい焼き芋を食べることができた。

2年 キビ栽培とキビ団子づくり (生活科)

織田地区の特産であるキビを、苗植えから栽培し、秋には背丈の倍もある大きなキビの収穫をした。その後、地域の方のご指導を得ながら、脱穀、寒ざらしを体験し、最後に「キビ団子」を作って、全校生にご馳走した。

3年 大豆栽培と豆腐づくり (総合的な学習)

学校園で大豆を栽培し、たくさん大豆を収穫した。3学期に、有名な「織田豆腐」を作っている地元の豆腐屋さんをゲストティーチャーに迎え、織田豆腐についての話を伺ったり、豆腐の作り方を指導していただいたりして、木綿豆腐づくりを行った。豆腐を作るときにできる湯葉やおからや豆乳についても知り、どれもおいしく食することができた。



4年 お年寄りとの交流活動（総合的な学習）

お年寄りとの福祉活動として、シルバー体験をしたり、地区の老人会の方から話を聞いたり、地区内のバリアフリーについて調べたりして学習をしてきた。そして、それまで学習してきたことをもとに、10月に、織田小学校に隣接する織田デイサービスセンターでお年寄りとの交流会を行った。



5年 小小交流での「地区の名所」紹介

小中連携教育の一環として、織田地区のもう一つの小学校との小小交流学習を全学年が行っている。5年生は、織田地区と萩野地区の名所を紹介し合った。各学校でグループごとに紹介したい名所（劔神社やオタイコヒルズ等）について調べ、萩野小学校に全員が集まり、発表会を開き、交流を深めた。

6年 篠笛演奏（音楽）

毎年、地域の篠笛名人を指導者として招き、6年生が篠笛演奏の練習をしている。篠笛は、織田地区にある劔神社での神事に演奏されたり、織田まつりで太鼓とともに演奏されたりと、織田地区の子どもたちには馴染み深い和楽器である。篠笛演奏は織田中学校に行っても継続され、地区行事の伝統を受け継ぐ足がかりともなっている。

成果と課題

「地域の人材・施設の活用」「家庭・地域との連携」「異校種間の連携」の3つの視点からふるさと教育に取り組み、子どもたちはふるさとの自然や人や文化、産業等とふれあう機会を得てきた。調べたり、体験したりすることで織田地区をより身近に感じ、各家庭内でもふるさとを話題にすることが増えてきた。

今後、ふるさと学習の内容にさらに工夫を凝らし、積極的に地域に出かけていく活動を取り入れていきたい。子どもたちが、地域の多くの人や文化に触れ、学習している姿を地域の人に見てもらうことによって、地域や家庭と学校が連携して、地域で子どもを育てていこうという意識の輪を広げていきたい。